

- 調査対象 テレワークを行っており、上司および部下のいる20代から60代の会社員
- 調査方法 インターネット調査 ・有効回答数 1,091名
- 調査時期 2020年11月5日～11月11日

出社をしていた頃よりも上司からの言動にストレスを感じる20代は48.2%

ハラスメントに対する感じ方や捉え方は世代によって異なることは以前から指摘されてきたが、テレワークという新しい働き方でもその違いはみられるのか。

本調査では、20代～60代までを対象にしているが、20代と50代の結果から世代間の違いについてみてみたい。

世代間ギャップは テレワーク下でも顕著

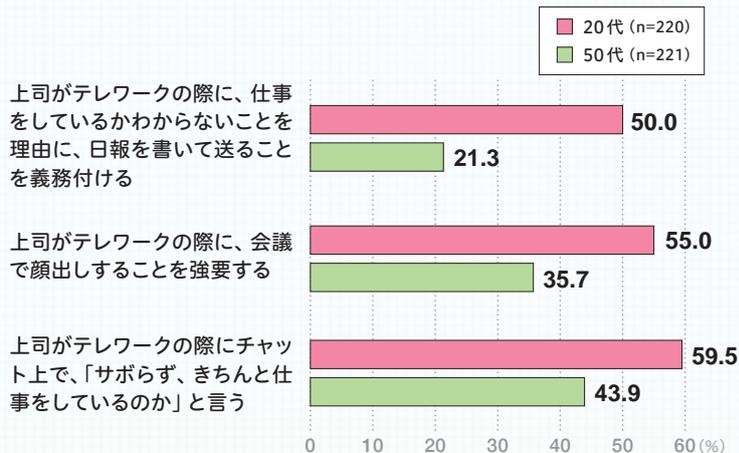
パワーハラスメントに該当するかどうかについて、20代（n=220）と50代（n=221）を比較してみると、「上司がテレワークの際に、仕事をしているかわから

ないことを理由に、日報を書いて送ることを義務付ける」では、20代で50.0%（「絶対に該当すると思う」「おそらく該当すると思う」の合計）、50代では21.3%で、世代間で28.7ポイントのギャップが明らかになった。

「上司がテレワークの際に、会議で顔出しすることを強要する」では、20代が55.0%、50代は35.7%、「チャット上で、『サボらず、きちんと仕事をしているのか』と言う」では、20代が59.5%、50代は43.9%で、いずれも世代間でギャップが生じている。

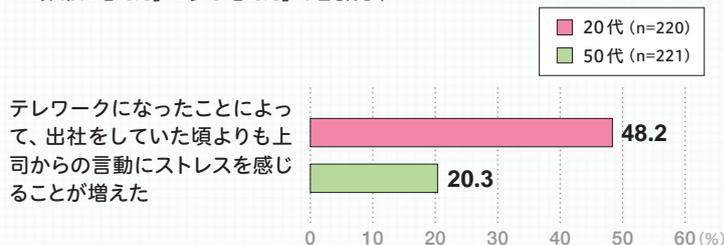
パワーハラスメントに該当すると思うか？（20代/50代）

*「絶対に該当すると思う」+「おそらく該当すると思う」の合計比率



上司からの言動にストレスを感じるが増えたか？（20代/50代）

*「非常に増えた」+「少し増えた」の合計比率



出社をしていた頃よりも ストレスを感じている20代

「テレワークになったことによって、出社をしていた頃よりも上司からの言動にストレスを感じるが増えたか」という質問では、20代が48.2%（「非常に増えた」「少し増えた」の合計）、50代が20.3%となった。

20代の半数近くが、上司からの言動にストレスを感じていることには、世代間のギャップというよりは、テレワークという働き方に向き合う認識の違いが現われているのかもしれない。新しい働き方が定着するには、まだ時間がかかりそうだ。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）